

BIZ [ビズスタ] Life Style

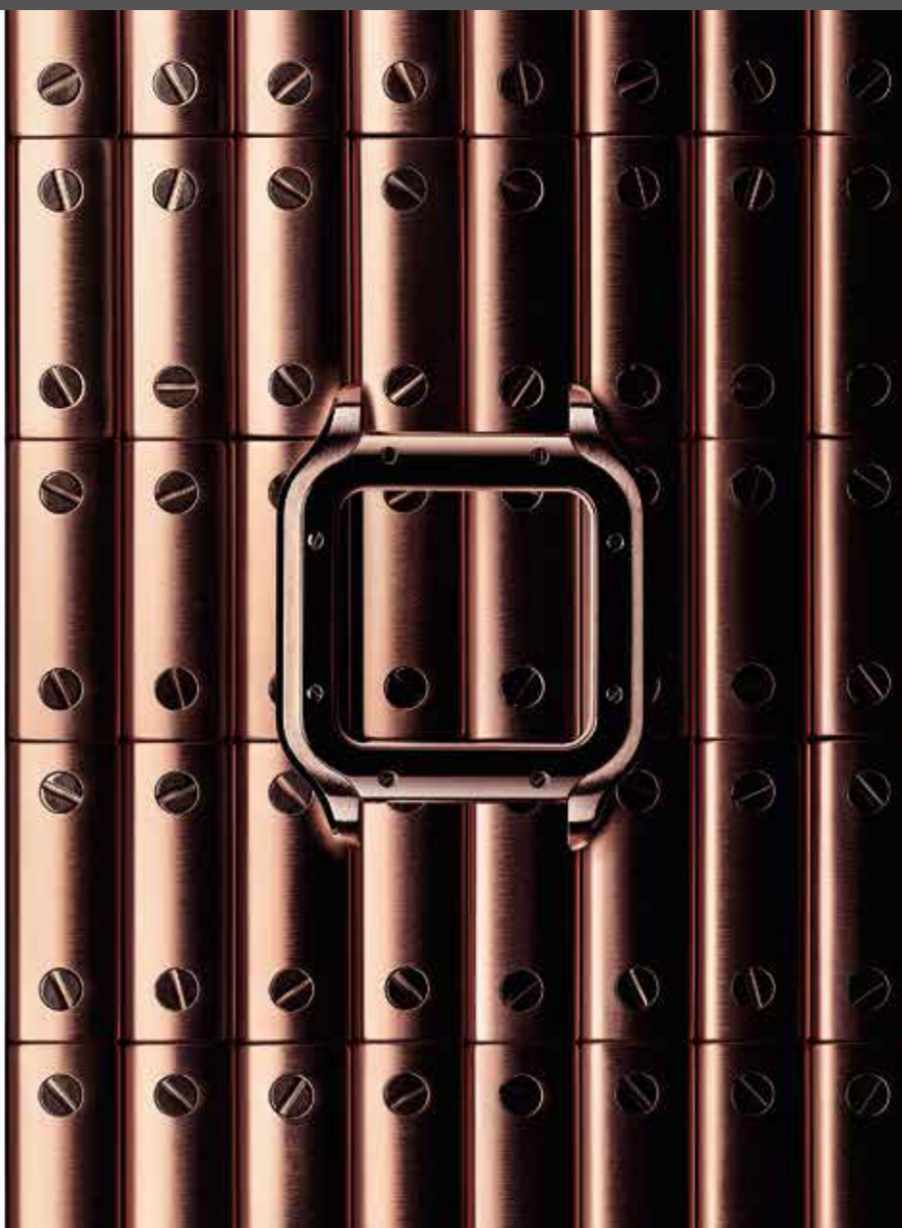


それは、革新的な発想。カルティエ。

My Favorite Life Style



Eric Sauvage © Cartier



Eric Sauvage © Cartier



腕時計の歴史はこのコレクションから始まった。

手元で現在時刻を確かめるだけであれば、それこそスマートフォンで代用できる時代。だが本物を見分けるだけの知性を持つ大人たちは、時を知る方法にも「美」を求める。

その昔、外出先を時を知らせるのは、懐中時計の役割だった。それを手首に巻きつけ、知性と感性、美への意識を雄弁に表現できるアイテムへと昇華させたのは、このコレクションだ。

1847年、パリで創業した「カルティエ」は、20世紀初頭には各国王室に出入りするジュエリーメゾンとして栄華を極めていた。時のイギリス国王エドワード7世をして「王の宝右商、宝右商の王」とまで言わしめる成功を収めていたが、実はこの時期に、時計史に燦然と輝く金字塔を打ち立てている。

誕生から100年以上も経った下の顔であり続ける名品

カルティエが腕時計というスタイルそのものを開拓した理由については、有名な逸話が残っている。1904年に完成したレザーストラップ付きのウォッチ「サントス」はその名の通り、発明家で著名な飛行家でもあったフランス系ブラジル人、アルベルト・サントス・デュモンに捧げられたものだ。操縦しながら時刻を確認したいという素朴な要望を受けたルイ・カルティエ本人が、腕に着けることを前提とした時計を着想し、デザインしたのだ。

特別に製作された「腕時計」は、後に「サントス・トゥワカル

ティエ」として製品化され、懐中時計を取り出す面倒から人々を解放することになる。まさに社会のあり方を変えたエポックメイキングな時計となったわけだが、それだけでは終わらなかった。サントス・トゥワカルティエは、今も同社を代表するコレクションのひとつであり続けている。何と、オリジナルの誕生から100年以上が経つ現在も新作が発表されている。

タイムレスな腕時計の最新コレクションが到着

人々に「美しい」と言わせるデザインは、単に数字とあるが、年表に名を刻むレールの歴史が課せられる。それは、いわゆる「時の試練」を乗り越える普遍性を備えていることだ。1904年から今日まで基本的なフォルムを保つサントスは、その典型と言えてよいだろう。

数十年の時を経て古びれない名品は「タイムレス」と呼ばれる必須条件。加えて、その時代にしか生まれ得なかつたエッセンスを持ち、なおかつ今日現在も人々に愛される製品だけが得る称号なのだ。カルティエは、そんな「本物の美」をいくつももっているが、中でもサントス・トゥワカルティエは白眉と言え、何しろ、1901年に入ってから発表された新作コレクションが、世界的なアイコンになっているのだから。

世界の名門ブランドの新作

そして、今回の新作コレクションでは「腕」に誕生するモダンウォッチとして躍出したサントスの象徴たるストラップに、再び新機軸が投入された。

時計ストラップのオリジンに搭載された2つの新機軸

時代に先駆けてレザー製ストラップを持ち込んだサントスは、素材選定の面でもハイオニアの役割を担ってきた。新コレクションでは、加えてアレシジンの面で新たな地平を切り開く。

「フィックスイッチ」は、ステンレスティールやゴールド、カーフレザーやアクリルゲーターといったさまざまな素材のストラップを自由に交換できるように開発された独自機構だ。ケース自体の構造に組み込まれており、ストラップ裏をワンタッチするだけで動作する画期的な機構となっている。また、タル製のプレズレットは、1リンク単位でのサイズ調節を実現する「スマートリンク」も大きなトピックだ。

* * * * *

いずれの機構も、特殊な道具を使うことなく、ロック&ファイルでアレンジできる意欲的な技術だが、これらがストラップのオリジンであるサントスに導入されたことには歴史的な意義を感じる向きが多い。ジャーナリストやコレクターたちが集う「S・H・H」が沸いたことには理由があったのだ。

カルティエは毎年、後に名品と呼ばれるモデルを送り出している。今回のサントスは、そんな未来を予感させてくれる。

Santos de Cartier



サントスドゥ カルティエ
CRW2SA0007
MMモデル(35.1×41.9mm)
イエローゴールド、スティール
1,058,400円(税込)



サントスドゥ カルティエ
CRWSSA0009
LMモデル(39.8×47.5mm)
スティール
799,200円(税込)



サントスドゥ カルティエ
CRWGSAA0011
LMモデル(39.8×47.5mm)
ピンクゴールド
2,397,600円(税込)



サントスドゥ カルティエ
CRWGSAA0007
LMモデル(39.8×47.5mm)
ピンクゴールド
4,352,400円(税込)



母国・ブラジルではリオデジャネイロの空港の名に、フランスのパリではストリートの名に、そして月ではクレーターの名に、宇宙開発プロジェクトではミッション名に。1897年に気球での飛行に成功し、1907年には飛行機の前身を発明したアルベルト・サントス＝デュモンは、航空界のバイオニアであると同時に自身の研究成果を無償で提供した篤志家でもあった。1904年に友人のルイ・カルティエが生み出した「サントス」は、時計製造業界に革命をもたらした。



My Favorite Life Style



パンテール ドゥ カルティエ
CRW4PN0008
MMモデル(27×37mm)
スチール、ダイヤモンド
993,600円(税込)



パンテール ドゥ カルティエ
CRW2PN0007
MMモデル(27×37mm)
イエローゴールド、スチール
896,400円(税込)



パンテール ドゥ カルティエ
CRWGP0006
SMモデル(22×30mm)
ピンクゴールド
2,214,000円(税込)



パンテール ドゥ カルティエ
CRWJPN0015
SMモデル(22×30mm)
イエローゴールド、ダイヤモンド
2,624,400円(税込)

© Cartier

Panthère de Cartier

ジュエリーのように着こなす時計。パンテールドゥカルティエ。

80年代の名作が突如甦る！
世界が驚いた新作コレクション

「カルティエは毎年のようにS・I・H・Hの耳目をさらしている」という表現は、決して誇張ではない。今年「サントスドゥカルティエ」の話題でもちきりだったS・I・H・Hだが、1年前の同じ会場で賞賛を身に集めたのも、やはりカルティエの名コレクションの新作だったのだ。

昨年のS・I・H・Hのニューズとなったパンテールドゥカルティエは、ある意味では今年のサントス以上に衝撃的に映ったかもしれない。と言うのも、やはりレディースウォッチの歴史に残る名作でありながら、長らく新作が発表されていなかったのだが、突如としてその沈黙を破ったからだ。

ひとめでその美貌が分かるフェミニンなデザインは、世界的にファッショナブルなカルチャーが開いた1980年代の活気を表現したものだ。時代の空気を感に見事に描いたこのコレクションも、ストラップ部分が非常に特徴的だった。もともと時計とジュエリーは近い関係にあるが、宝石やブレスレットと完全に溶け合うような官能的な美にまで引き上げたウォッチデザインは、カルティエの最高峰のひとつと言えるものだ。

セレブリティたちを中心に、世界中の女性たちにとっての自己表現のシンボルとなっ

たパンテールは、その鮮烈な時代性ゆえに流行の最前線で語られ、次の時代へとバトンを継いだ。だが、この新生パンテールドゥカルティエは、サントスをはじめとする同社の各コレクションと同様に「タイムレス」であることを証明した格好となった。

さらに美しく磨き上げられたエッジで現代性を表現しつつ、しなやかなリンクのブレスレットで優美な魅力を振りまくジュエリーとしてのタイムピース。フォーマルにもカジュアルにも対応可能で、美意識と言うよりも一人の女性としての精神性まで描くような複層的な美。その世界観の構築力には「さすがにカルティエ」とため息をつくしかない。

オリジナルモデルが発表された時代から人間社会は大きな変貌を遂げたが、この新たな時代にも、変わらず「女性の美」を贈りたい。そんな同社の想いが明確に表現された注目コレクションと言えるだろう。

* * * * *

駆け足で注目コレクションを紹介してきたが、残念ながらこの誌面だけでは魅力の半分も届かない。なぜなら、手に取り、腕に着けて初めて伝わる感覚こそが、カルティエウォッチの真骨頂だからだ。ひとたび実物の輝きに触れば、きつと美への意識が変わるはずだ。

Biz Life Style Pick up >>>

香川県内で唯一のカルティエ正規販売店が恒例のクリスマスフェアを開催。

EYE
EYE
ISUZU

アイアイイズ
香川県高松市多肥下町1523-1
TEL.087-864-5225 営業時間/11:00~20:00 無休

香川県でカルティエを手にするなら、高松市にある県内唯一の正規販売店に出かけよう。全国でも屈指の品揃えを誇るカルティエコーナーを展開中なので、ここなら欲しい商品に必ず出会えるはず。

「アイアイイズ」は、本紙で紹介した圧倒的な美を、最新の世界観に基づいてディスプレイで確かめることができる。最新作から定番のモデルまでコレクションも充実のひとこと、まさに生涯の一本と出会うはずだ。

またこの季節なら、クリスマスプレゼント選びに最適な特別な2日間が用意されていること。

今年は12月15日(土)・16日(日)の2日間。カルティエの世界観を存分に満喫できる空間が用意されているぞうだ。

詳しくは店頭スタッフまでご確認を...

取り扱いブランド

カルティエ、ランゲ&ゾーネ、ヴァシュロン・コンスタンタン、オーデマピゲ、IWC、ジャガー・ルクルト、パネライ、ブレゲ、ハリー・ウィンストン など

www.eye-eye-isuzu.co.jp

カルティエ カスタマー サービスセンター
フリーダイヤル 0120-301-757
受付時間/10:00~20:00 無休(年末年始を除く)

www.cartier.jp